

**津波浸水区域マップ**  
(津波警報2mの場合)  
市街地

**この地図の見方**

**1. 自分の家はどうなるの？**

この地図に表示している浸水予測は、津波警報が2mの高さで発表されたときに、標高5mまでの高さまで浸水すると予測し、その高さよりも低い区域を表示しています。

※津波浸水予測区域については、平成16年3月、内閣府・農林水産省・国土交通省作成「津波・洪水ハザードマップマニュアル」に定める「地盤高による設定」を参考に、朝日町が独自に予測したものであり、津波シミュレーションは行っておりません。

**■津波浸水予測標高の考え方**

2mの高さの津波の場合、一般的に津波の遡上高は2倍から4倍になるといわれています。  
ここでは、津波遡上高を津波高の2倍の4mと設定し、さらに朝日町平均着潮面1mを加えた高さを浸水標高としています。

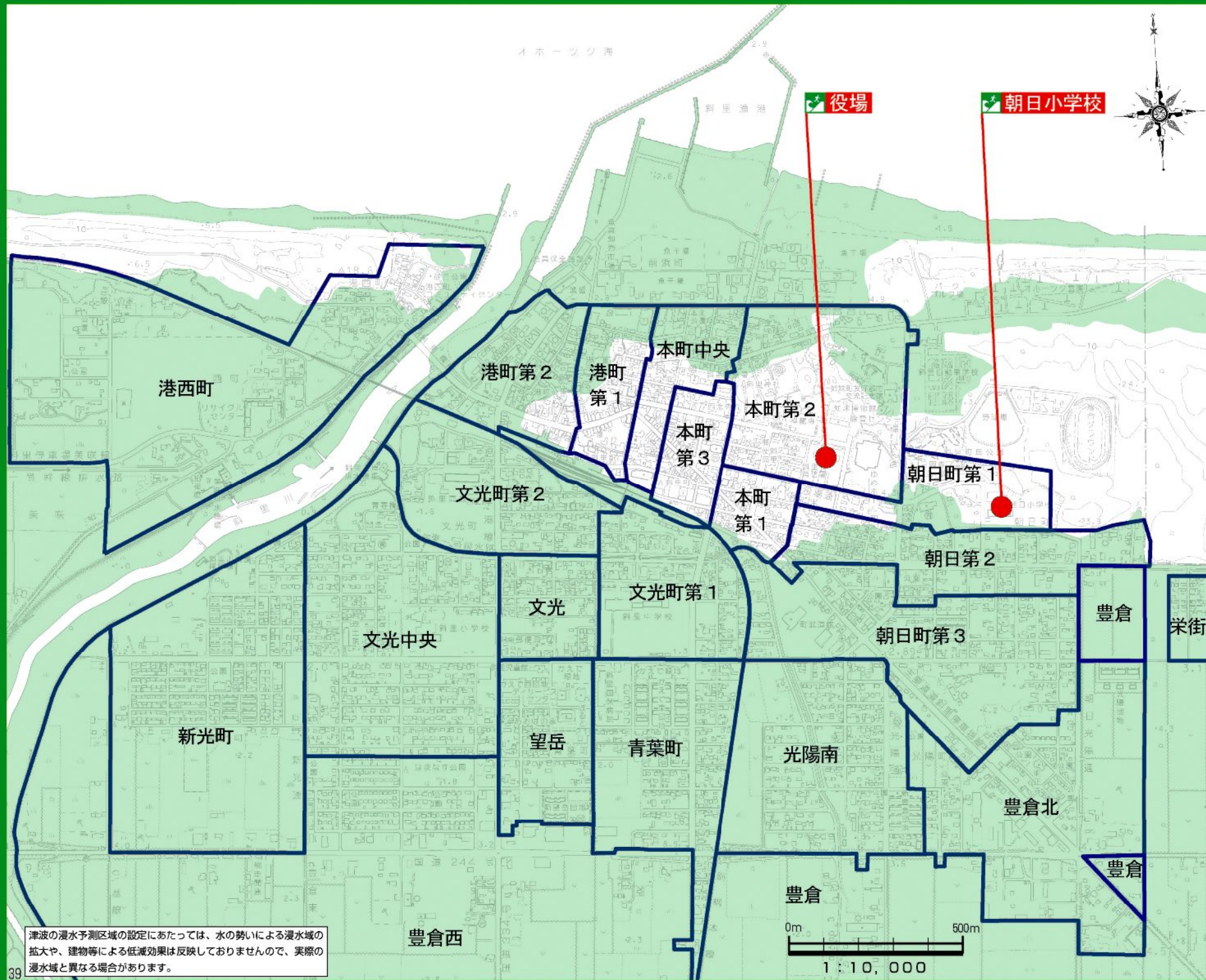
A・・・津波遡上高 4m(津波高の2倍)  
B・・・朝日町平均着潮面 1m  
A+B=津波浸水予測標高 5m

■津波浸水予測区域

**2. 津波指定避難所(ウトロを除く)**

自治会名	
役場	朝日小学校
森のまなびや越川87	三井小学校
来運水の学校	富士コミュニティセンター
富士コミュニティセンター	自然休養村管理センター

※グラウンドや駐車場等も含めて、敷地全体が避難場所となります。どうしても避難所まで移動が出来ない場合は、安全で高い場所か、近くの頑丈な建物(鉄筋コンクリート又は鉄骨づくり)の2階以上に避難して下さい。



津波の浸水予測区域の設定にあたっては、水の勢いによる浸水域の拡大や、建物等による低減効果は反映しておりませんので、実際の浸水域と異なる場合があります。

津波